

## 区民により添うやさしい中野

活動レポート 4号  
2024 年秋号

発行：中野区議会自由民主党議員団・東京都中野区中野四丁目 11 番 19 号 10 階

## ごあいさつ

日頃より区議会議員の活動に際し、ご理解いただき感謝申し上げます。第3回定例会、衆議院選挙も終わり、季節も秋から冬に変わろうとしております。前回の定例会では、サンプラザ問題が表面化されました。今後も、中野区の財政をも揺るがすこの問題をしっかりと取り組んで参ります。今年も残り2ヶ月となりましたが、引き続きよろしく願いいたします。

## 子ども教育について

全国的にいじめ・不登校の件数が増えており、中野区も不登校の件数は、今年度も増加傾向です。【小1プロブレム】や【中1ギャップ】は、いじめ・不登校の原因ともいわれており、解決のためには、保幼小中連携が必要ですが、保護者の立場からみると、どの様な取組みをしているか見えてきません。その為、保幼小中連携の取組みを区が積極的に情報発信をしていくべきと区に答弁を求めたところ、【連携教育通信】や区のHPを活用して取組みを積極的に発信していくとの回答でした。保幼小中接続期での不安な気持ちは子ども達だけでなく、保護者も同じ気持ちだと思います。今後も保幼小中連携について区に訴えていきます。

## 教育環境について

平成31年の厚生労働省の通知を踏まえ、学校保健安全法に基づく、【学校環境衛生基準】が改正され、令和3年4月より施行されております。改正の概要としては、キシレンの基準値をより厳しい数値に改定致しました。基準値が改正されたことで、学校施設で適切に検査を行い、基準値を超えた場合は学校薬剤師等の協力のもと適切な措置を講ずることとされました。中野区では、現在検査を行っておりませんので、児童生徒の健康を守り、快適な教育環境を維持するためにもキシレン検査を導入するべきと区に答弁を求めたところ、来年度から各学校におけるキシレン測定分析を行いたいとの回答でした。今後も児童生徒が安心して学べる環境づくりを区に訴えていきます。

## 用語解説

- 小1プロブレム…幼稚園や保育園から小学校に入学後に子どもたちが小学校での授業や生活に馴染めず、適応できない状態が継続的に続くこと。
- 中1ギャップ…小学校を卒業して中学校へ進学した際、新しい環境や生活スタイルなどになじめず、精神的に不安定になっていること。
- 保幼小中連携…幼児期から義務教育期までの15年間の教育を、保育園、幼稚園、小学校、中学校が連携して支える取組みのこと。
- 連携教育通信…中野区における就学前教育と学校教育の連携の一層の充実・発展を目指して、区内の保育施設・幼稚園・小学校・中学校の教育連携の先進的な取組等を各園・学校にお知らせを発行している。
- キ シ レ ン…接着剤や塗料の溶剤及び希釈剤として用いられる揮発性有機化合物の一つであり、不快な刺激や臭気を感じ、状況によってシックハウス症候群の発生要因になるとされており、今回キシレンの基準値を870  $\mu\text{g}/\text{m}^3$ から200  $\mu\text{g}/\text{m}^3$ に見直されました。

## 歯科健診について

健診は、健康状態を把握して、病気の予防、早期発見、早期治療に繋げることが目的であり、それにより健康寿命の延伸、医療費の削減に寄与します。また、健診は継続性が非常に重要であり定期的に受診することが大切です。全身の健康にも影響を及ぼす歯周病の発症年齢は、20代から30代が多いとされており、20、30歳の歯科健診を実施するべきと区に答弁を求めました。また、人生100年時代において、健康寿命の壁ともいわれる80歳は非常に重要な節目であり、生涯にわたっての健診が必要と考えますので、中野区でもまずは80歳の歯科健診を実施するべきと区に答弁を求めたところ、20、30歳の歯科健診の実施について検討していきたい、また高齢者の口腔状態は、個人差が大きいことから、かかりつけ医での定期的な受診が必要との回答でした。重要なことは口腔ケア無関心層にアプローチすることが大事なので、今後も区には、若年から高齢者までの継続的な健診を要望し続けていきます。

## 口腔機能発達不全症について

口腔機能発達不全症について重要なことは、正しい知識を持っていれば、ご家庭で予防、一部改善することが出来ることです。その為には、正しい知識を早期にご家庭で共有することが大切ですので、対象の年代に口腔機能発達不全症に関する冊子を配布する等の周知が必要だと考えます。また、学校でもお口に関する正しい知識を学んでいただくことも大切なので、以前各小中学校等で歯科医師や歯科衛生士が行っていた講和を復活させるべきと区に答弁を求めたところ、歯科医師会と連携しながら口腔機能発達不全症の周知等について考えて行くとの回答でした。今後も各年代のお口のケアの必要性を区に訴えていきます。



### 用語解説

- 歯周病とは…細菌の感染によって引き起こされる炎症性疾患で、歯の周りの歯ぐき（歯肉）や、歯を支える骨などが溶けてしまう病気。慢性的に罹っていると、様々な病気に罹る原因とされています。
- 口腔機能発達不全症とは…  
18歳未満の子どもで、生まれつきの障害がないにも関わらず、食べる、話すなどのお口の機能が十分に発達していない状態のこと。

### 中野区内のお祭りに参加しました。



地元町会の氷川神社例大祭に参加しお神輿を担ぎました。



東京音頭ギネスに挑戦！

### 公務の様子



議会での第3回一般質問の様子。



東京河川改修促進連盟総会に出席しました。

### 衆議院選挙 10月16日 東中野西口駅前広場にて



自民党  
山内あきひろ

### プロフィール

昭和53年(1978年)10月31日 中野区生まれ  
宝仙学園幼稚園、中野区立立谷小学校、中野区立第三中学校(現 中野東中学校) 関東第一高等学校  
10代の頃より芸能事務所に所属。俳優としてCM、舞台、映画、ドラマ等で活躍  
認知症相父母の在宅介護・子育てのダブルケアラー経験者 認知症サポーターリーダー  
所属委員会/子ども文教委員会(副委員長)、中野駅周辺整備・西武新宿線沿線まちづくり調査特別委員会

WebSite

